

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (東海)	◎	コンビニ（商品企画担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言発出中ではあるものの、一定の来客数があり3か月前と比較しても増えている。
	○	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスのワクチンもようやく接種が始まり、景気は良くなっていく。
	○	スーパー（店長）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク以降、新型コロナウイルス感染者が急激に増加し、まん延防止等重点措置の適用から緊急事態宣言が発出され、また延長されたことで、週末を中心に来客数が増加しており売上増加につながっている。
	○	スーパー（商品管理担当）	来客数の動き	・アウトドア人気による消費者の購買意欲の高まりにより、来客数は上昇してきている。目新しい物に対する購買行動で客単価も上がっており、売上は上向きであるといえる。
	○	スーパー（販売担当）	来客数の動き	・コロナ禍で緊急事態宣言が発出されているなか、どこにも行けないため、特に土日はスーパーなどに家族連れで来店するので、売上は多い。
	○	スーパー（ブロック長）	お客様の様子	・来客数について増加はみられない、特に夕方以降、夜間については変わらず減少が続いている。緊急事態宣言が出されても前年のような米、パスタ、小麦粉の買いだめはみられないが、客単価の上昇がみられ高額品の動きが好調である。
	○	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・前月と比較して来客数は3.7%、前年比でも2.3%改善できた。特に重点管理商品の米飯、ファーストフードが4～10%良くなっている。話題性のあった冷凍ケーキで、冷凍食品が25%改善された。
	○	コンビニ（店員）	販売量の動き	・暖かくなり、アイスクリーム、ドリンクや新商品の売上が好調である。
	○	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・コロナ禍ではあるが、皆もう余り気にする様子もなく、今までどおりに車を買換える客が増えてきている。
	○	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・急ぎの案件依頼が数件あり忙しい。
	○	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・コロナ慣れで、客足もほどほどにはある。真剣に考えている人のみに絞られた来場者が多い。
	□	商店街（代表者）	それ以外	・当地域には緊急事態宣言は出ていないが、客足は相当減っている。周辺の道路も、以前と比較すると混雑が減っているように感じる。
	□	商店街（代表者）	販売量の動き	・季節的に繁忙期であるが、売上はほぼ横ばいである。
	□	一般小売店〔高級精肉〕（常勤監査役）	販売量の動き	・取りあえず緊急事態宣言が解除されるまで、余り事態は変わらない。
	□	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・ブレーキ、アクセル、急ブレーキの繰り返しで専門家という名の素人集団に振り回されて早1年半になるうとしている。海外勤務の邦人救済という名目の一時帰国者によって変異株が持ち込まれ、更に感染規模の拡大が進む。ワクチン後進国の行く末を案じる。
	□	一般小売店〔生花〕（経営者）	販売量の動き	・余り変化はない。生け花教室に納める花も、新型コロナウイルスの影響で前年から休んでいるところもあり元には戻っていない。店売りに関しては、そこそこの売上をキープしている。
	□	一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言でがたがたである。
	□	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・当地では3か月前と比して変わらない状況が続いている。隣接する県との関係から、当地でもまん延防止等重点措置が6月20日まで延長された。客のマインドは回復傾向にあるが、実際の消費は3か月前と変わっていない。付き合いの幅を狭くして様子を見ており、飲食店も生産者も必要以上の物は作らないといった様子で、変わらない状況が続いている。

<input type="checkbox"/>	一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	販売量の動き	・来客数は増えているが、購買に関しては、まだまだ様子見が続いているようである。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・大都市圏の緊急事態宣言及び隣県独自の非常事態宣言が延長し、自粛生活が続いている。来客数は例年には全く及ばず、滞在時間も短い。新型コロナウイルスに気を付ける生活が続いている。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	単価の動き	・相変わらず自分が必要とする物は、金額に関係なく購入する傾向がある。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	来客数の動き	・やっと持ち直してきたかと期待した矢先のまん延防止等重点措置の適用である。5月5日以降は激減している。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店員）	単価の動き	・まん延防止等重点措置により、5月の大型連休でのステイホームの呼び掛けで、自宅での飲食での買い出しがやや見受けられた。ただ、飲食店などの材料買い出しの注文が下げ止まりのままである。
<input type="checkbox"/>	スーパー（営業企画）	お客様の様子	・緊急事態宣言が延長され、現状の消費者の生活様式に大きな変化はない。コロナ禍での消費パターンは各家庭でほぼ確立されているようで、売上にも大きな変化はない見込みである。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	販売量の動き	・梅雨入りし、来客数が減った。しかし、客単価が上昇し変わらない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（企画担当）	販売量の動き	・当地に緊急事態宣言が発出され大幅な減少が予想されたが、それほど大きな影響は出ていない。4月と同等の水準を維持している。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・前年比でみると売上、来客数共に大幅に回復・伸長しているようにみえるが、実際のところ前々年比ではまだまだ10%近く足りておらず、3か月前と比べても改善していない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・2月の緊急事態宣言時に来客数が下落したが、今月も同様の動きであった。人通りなど店前の通行量は2月と比較しても大きな変化はみられないが、時短営業や企業の残業縮小などの影響などもあってか、夜間の人の往来が少なくなっていると感じる。このため、店舗でも夕夜間の売上、来客数が落ち込んでいる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数、売上共に前年比ではプラスであるものの、新型コロナウイルス発生以前の前々年比でみると、まだ7割程度の回復である。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（本部管理担当）	来客数の動き	・来客数は前年比107%と好調だが、前年のコロナ禍での比較であるため、物足りない経営数値となっている。現在も当地では緊急事態宣言が継続されており、景気の回復は感じない。3か月前と比べても、悪い意味で状況の変化は感じない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（販売企画担当）	お客様の様子	・来客も注文も、電話すら止まっている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・新規客の来店はかなり少なくなっており、月の販売台数の1割にも満たない。辛うじて自社客からの乗換えと専用業者への販売で前年並みの台数を維持している。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・緊急事態宣言が出され、積極的な店頭への誘客が行いづらい。客へのアプローチが取りにくく、自社客中心の活動となっている。客との会話においても、家計における収入減少を心配する声が多く聞かれ、元気がない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・今月は新製品が出たことによる一時的な受注があるものの、緊急事態宣言が出ている地域があるなかで景気は上がっている気配はなく、かといって極端な落ち込みもない。ゴールデンウィーク前後も変わらず停滞が続いている。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・周りの同業者の話聞いても、余り良い話は出てこない。一般の人の話でも良い話は出てこない。
<input type="checkbox"/>	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	お客様の様子	・緊急事態宣言による時短、休業などの制約で、落ち込みが激しい。

□	観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・3か月前の2月もそうであったが、緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置が適用されると、当地は対象地域ではないが、一斉に市民、県民の動きがばたっと止まって外出を自粛してしまうという現象が発生して、ほとんど稼働できていない。来客数が余りない状況で過ごしている。
□	観光型ホテル (支配人)	来客数の動き	・今月は確かに3か月前より2倍の売上はあるが、それも時節柄のことで、前々年と比較すると20%にも満たない。したがって、ずっと低迷が続いており回復の兆しは一向にない。来月も緊急事態宣言とまん延防止等重点措置が延長となり、景気の動向は更に悪化するものとみる。
□	旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・高齢者のワクチン接種はスタートしたものの、何の影響なのか、全く新型コロナウイルスの感染者数が減らず、むしろ当地は増えている状況である。旅行の新規予約は緊急事態宣言中には厳しい。前年同様の休業状態と同じにもかかわらず、給付金がないのは困る。個人経営者に手厚い補償を考えてほしい。
□	旅行代理店(営業担当)	お客様の様子	・旅行事業としては依然どん底の状態である。客との会話には旅行の話題もなくなった。
□	旅行代理店(営業担当)	お客様の様子	・コロナ禍の緊急事態宣言下で新規旅行申込みはほぼない。申込みがあった旅行も中止や延期にする客が大半で、前月に引き続き底辺の状態にいる。スポーツ団体も、学校関連は部活動の自粛などで対外試合などが中止となり、それに伴う貸切りバスや宿泊などの取消しが発生している。
□	タクシー運転手	お客様の様子	・ゴールデンウィーク中はデパートや繁華街にも結構人出があつて良かったが、緊急事態宣言が発出されて酒類提供の自粛が始まってからは、酒を提供する飲食チェーン店などが休業になり、夜8～9時になると街はがらがらになってしまった。
□	通信会社(営業担当)	販売量の動き	・3か月前と比べて余り変化はない。
□	通信会社(営業担当)	お客様の様子	・中小企業の訪問営業をしているが、在宅ではなく通常どおり営業をしている。客も普通どおり仕事をしており、受注数も変わらない。
□	ゴルフ場(支配人)	来客数の動き	・今月の入場者数はほぼ順調に推移している。予算的には少し足りないものの、コロナ禍で苦戦した前年と比べると大幅に伸びている。好調であった3か月前と比べると、今月は予算的に入場者数及びレストランの売上はややマイナスであるが、景気は変わっていない。
□	その他レジャー [プロスポーツ] (経営管理担当)	お客様の様子	・来客数の減少から、景気は変わらないと判断する。
□	美顔美容室(経営者)	販売量の動き	・現在美容キャンペーン中であるが、皆マスクをしているため余り必要ないと思っている客が多く、関連する化粧品が余り出ない。
□	美容室(経営者)	来客数の動き	・ゴールデンウィークはあったが、皆外出を自粛しイベントもなかったため、前月に引き続き来客数は少なかった。
□	その他サービス [介護サービス] (職員)	販売量の動き	・年度替わりに加えて、緊急事態宣言で介護リフォーム工事の引き合い自体が減少している。
□	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・大きな変化はみられない。当地にも再度の緊急事態宣言が発出され、どういう影響が出てくるかである。
□	その他住宅[不動産賃貸及び売買] (営業)	お客様の様子	・県独自の非常事態宣言が出て、部屋探しの客の動向が減少している。
▲	商店街(代表者)	お客様の様子	・緊急事態宣言が発出されたため、マインドとしてはかなり悪い。
▲	商店街(代表者)	販売量の動き	・前月同様、まん延防止等重点措置が適用されて以降、客は必要最小限の商品しか購入しないため、販売高につながらない。

▲	一般小売店〔結納品〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスを何とかしてほしい。
▲	一般小売店〔書店〕（営業担当）	販売量の動き	・新年度用の受注は落ち着いたが、緊急事態宣言下での影響も余り感じられず平常期に入ったものと思われる。
▲	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・来客数が全体的に減っている。平日でも少し売上はあるが、以前の4分の1くらいに下がっている。夕方の会社帰りの客も少なくなって厳しい状態である。土日になると若干の来客はあるが、スタッフが暇そうな売場という印象になっている。
▲	百貨店（販売担当）	来客数の動き	・ゴールデンウィークの来客数は思っていたよりもあり、購入意欲のある客の来店で高額品が稼働したが、期間を通して苦しい営業となった。緊急事態宣言の延長で土日休業となり、状況は変わらず厳しい。
▲	スーパー（販売担当）	販売量の動き	・来客数に余り変化はないようだが、購入点数が伸び悩み、売上の起爆剤になるような商品群も出ていない。
▲	スーパー（商品開発担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言発出により、売上は前月よりアップしたが、前年比100%以上で推移していた3か月前と比較すると、5月は前年比98%前後になる見込みである。
▲	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・元々連休明けは来客数が減ると覚悟はしていたが、緊急事態宣言が発出されたのと重なり、商店街の人通りは全くなく、なじみ客の来店もさっぱりであった。
▲	衣料品専門店（売場担当）	来客数の動き	・スーツの販売は立地にもよるが、全国チェーンの衣料品量販店の間にあるため人通りはまずまずだが、とにかくスーツを着る仕事が減り在宅ワークとなって、来客数が減った上に購買意欲も落ちている。
▲	衣料品専門店（売場担当）	お客様の様子	・外商客の消費動向は、直近2～3か月には特に買い控え等はなかったが、5月に緊急事態宣言が発出されたことが影響し、店外催事も当日の見合せ等があった。高額商品に対する消費は厳しいように思える。
▲	家電量販店（店員）	販売量の動き	・前年は巣籠り需要で売上が良かった。それと比較すれば落ちてきている。
▲	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・半導体不足の影響が顕著に表れてきている。新車の納期も軒並み数か月待ちになっていて、新車を受注しても車が来ない状況である。売上は前年比9割ほどで、厳しい状況と言わざるを得ない。緊急事態宣言が発出されてから、客も遠出を控えるようになっており、メンテナンス用品の売上も落ち込んでいる。
▲	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・業種によってかなりいろいろな格差が出ているが、相対的に厳しくなっている人の方が多いため、景気は下向きになっている。
▲	住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大のため、商業施設の新設や改装工事などで延期又は中止になる物件が出ている。その他の物件についても同様に着工が伸びている物件がある。
▲	その他専門店〔貴金属〕（経営者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が適用されて以来、商店街の通行人数が大幅に減少し、同時に来客数も激減した。新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点からは非常に良い傾向であると思えるが、商店街の飲食店は9割が休業で、ただし補助金がある。当社も売上が大幅減少で補助金もなく、経済・経営面では悪化の一途をたどっている。
▲	その他専門店〔書籍〕（店員）	単価の動き	・緊急事態宣言が延長されたが、前年と比べると巣籠り需要も減っているし人出も多くなっている。前年は巣籠り需要の影響もあって書籍の売上は伸びたが、春頃から例年どおりに戻ってきたため、前年と比べると2割ほど売上は落ち込んでいる。
▲	その他専門店〔雑貨〕（店員）	来客数の動き	・新型コロナウイルス対策の影響である。

▲	高級レストラン (経営企画)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染者数の増加、まん延防止等重点措置の適用、さらに緊急事態宣言によるアルコール販売停止と段階ごとに来客数が低下した。特に平日、夜は急降下した。テイクアウトが若干増加した。
▲	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で外出する客が少なく、時短営業の影響もあり売上が例年と比べ落ち込んだ。
▲	その他飲食 [ワイン輸入] (経営企画担当)	それ以外	・取引先の飲食店は、5月の緊急事態宣言で酒類の提供が制限されたために、売上の確保がままならず、仕入れも大幅に控えている。事業を継続できない事例も増えてきた。
▲	都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・予約が入ってもすぐキャンセルになる。
▲	旅行代理店 (経営者)	それ以外	・自動車関連企業は好調な反面、新型コロナウイルスの影響によって旅行業や飲食店等時短営業等を強いられている業界のリストラ、閉店が進みつつある。コンビニの棚も空きが目立ってきており、商品の仕入れを抑制している。
▲	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスのためである。
▲	通信会社 (営業担当)	来客数の動き	・緊急事態宣言が出てから、やや来客数が少なくなったように感じる。
▲	テーマパーク職員 (総務担当)	来客数の動き	・緊急事態宣言の対象となる県が追加され、期間の延長も検討され始めている。
▲	その他レジャー施設 [鉄道会社] (職員)	来客数の動き	・当地でのまん延防止等重点措置の適用や独自の非常事態宣言等、コロナ禍が収まらない状況で観光列車への影響が大きい。
▲	理美容室 (経営者)	来客数の動き	・余り人が出歩いておらず、景気は良くない。
▲	美容室 (経営者)	お客様の様子	・やはり新型コロナウイルスの影響が大きい。
▲	設計事務所 (職員)	お客様の様子	・打合せのなかで、景気に関しては、全くといっていいほど好調になる感じは見受けられない。
▲	その他住宅 [住宅管理] (経営者)	単価の動き	・今まで下請に任せてきた仕事も自社でやらないと合わないくらい厳しい。この先、利益確保が難しくなってきた。
×	商店街 (代表者)	販売量の動き	・ステーション系売店は、駅の売店や空港店などがたがたである。商店街もシャッター通りと化して、たがたである。
×	一般小売店 [酒類] (経営者)	販売量の動き	・飲食店でのアルコールの提供自粛要請により、当社の取引先は食中心の飲食店でも今回ほとんど休業になり、当社のような業務用酒販店は売上が9割以上減少となった。従業員はほとんど休みで、出勤しても午前中の2時間程度の業務で終了してしまう。そういう日々がずっと続いている。倒産の危機である。
×	一般小売店 [惣菜] (店長)	来客数の動き	・緊急事態宣言で明らかに来客数が減っている。
×	百貨店 (総務担当)	お客様の様子	・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置による百貨店への土日休業要請や新型コロナウイルス感染者の高止まり傾向により、外出が一層手控えられており、来客数も大きく激減している。一部の高額品に顕著な動きはあるが、全体の売上のカバーには至っておらず、マインドは前年同期より落ち込んでいるように感じる。
×	百貨店 (経理担当)	お客様の様子	・緊急事態宣言の延長が決定したことによって、需要の更なる落ち込みがみられる。レジャーや物品購入に対する消費マインドは、一層冷え込んでいるように感じる。
×	百貨店 (販売促進担当)	来客数の動き	・緊急事態宣言により来客数が大幅に減少した。
×	百貨店 (計画担当)	お客様の様子	・緊急事態宣言の発出により来客数が急激に減少しており、特に一般客の購買意欲の減退を感じる。
×	スーパー (経営者)	お客様の様子	・前月に引き続き、小売店、飲食店で来客数の減少がみられる。
×	コンビニ (企画担当)	来客数の動き	・緊急事態宣言の影響により、夕夜間の来客数が減少している。特に22時以降は全く客が来ない。
×	コンビニ (店長)	販売量の動き	・今月は早く梅雨入りをして天候が不順で、飲料水を始めてして売上が低迷した。

	×	家電量販店（フランチャイズ経営者）	来客数の動き	・4月以降、来客数の減少が続いている。元々イベント買いの少ない店舗であり、高齢客が多いため外出自粛の影響を受けている。
	×	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車販売はとても厳しい月となった。半導体絡みで生産がストップしており、また、ゴールデンウィーク以降も需要が盛り上がらない状態が続いている。
	×	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・全体的に良くなく、余り売れなかった。動きはそう悪くはないが、3か月前と比べると悪い。たまたまなのかは分からないが、値段が高いと売れないのは間違いない傾向である。
	×	その他専門店 [雑貨]（店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言発出後、街中心部への客足が7割程度になった。とはいえ、大型商業施設でも集客のある生活必需品は営業可能で、ダメージは思ったよりは少ない。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・5月11日までのまん延防止等重点措置の適用から5月12日の緊急事態宣言の発出で、客足がほぼない日が多くなっている。
	×	一般レストラン（従業員）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の適用対象地域に入り、時短営業、アルコール禁止となり、売上は全く上がらない。
	×	一般レストラン（従業員）	お客様の様子	・とにかく一部の常連客しか来ない状態である。
	×	都市型ホテル（営業担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言の延長により6月の予約客からキャンセルが相次いでいる。加えて新規の申込みも低迷していることから、打つ手が見当たらない。
	×	都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・緊急事態宣言で、会議中心の宴会は7月までキャンセルとなった。レストランは夜の集客がない。宿泊は、10%台の稼働である。
	×	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・都市部の緊急事態宣言が延長され、当地もまん延防止等重点措置の適用で旅行に行く人は全くいないので、仕事がゼロの状態である。
	×	旅行代理店（経営者）	それ以外	・3度目の緊急事態宣言の発出により、その他の業種もそうだが、特に旅行会社は、3か月前も今も厳しい状況が続いている。
	×	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・新規契約件数、解約件数共に、前月あるいは前年同月と比べて大幅に減少しており、人が動かなくなっていることを感じる。
	×	通信会社（サービス担当）	それ以外	・大掛かりなシステム移行に伴い、注文が受けられない状態が続いているため、今月の販売量は激減している。
	×	レジャーランド（職員）	来客数の動き	・ゴールデンウィークは、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置等の自粛要請により低水準の来場者数となった。また、時短営業、アルコール提供の停止要請や、例年よりも早い梅雨入りも来場者数の減少に影響した。
	×	テーマパーク（職員）	お客様の様子	・緊急事態宣言が延長されたためである。
	×	パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数の動きから、景気は悪くなっていると判断する。
	×	美容室（経営者）	それ以外	・世界的な新型コロナウイルスの感染拡大で、本当にここ1年半は客の出入りが少なくなった。当店の客は高齢化しているため、外出が怖いということからパーマを掛けるのも少し加減している。
	×	美容室（経営者）	お客様の様子	・もういい加減に新型コロナウイルスの話は終わりにしたい。
	×	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・コロナ禍で外出自粛のため客が集まらない。先行きが不安である。
	×	住宅販売会社（従業員）	競争相手の様子	・リフォームの依頼が少し増えてはいるものの、新築住宅は少ない。
企業 動向 関連  (東海)	◎	*	*	*
	○	一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・北米自動車向け設備では凍結されていた計画が再開したり、納期の短い引き合いが増えている。
	○	電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・職場が変わり、コロナ禍でも比較的好調な半導体関連となった。

○	電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・半導体の需給問題により、納期遅れなど市場への影響が開始しているが、受注そのものがなくなったわけではない。通信関連機器の受注、販売共に好調で、今年から来年に掛けてその需要は拡大していくものと思われる。
○	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・前々年までの実績には至っていないが、前年と比べ物量が若干ではあるが増加傾向にある。
○	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・5月下旬時点では、前年に比べて受注が回復しつつある。荷主の業種によっては、好調なところといまだに沈んでいるところと明暗が分かれている。
○	不動産業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・活発な売買案件はあるが価格は横ばいである。
□	化学工業（総務秘書）	それ以外	・新型コロナウイルス第4波による6月20日までの緊急事態宣言の延長が決定した。長く続く関連業界の経済停滞、自治体の支援金支出は、その後を考えると気が重い。東京オリンピックによる景気高揚も期待できない。
□	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・販売量が減少している。
□	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言のため、客先の業界でほとんど設備投資をしていない状態が続いている。なかなか売上の見込みが立たず、非常に悪い状態である。
□	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・工作機械関係及び自動車関係については前年を上回る状態ではあるが、その他の製品については例年の10～15%台で横ばいが続いているため、全社的にはほぼ横ばい状態が続いている。
□	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	取引先の様子	・航空機業界は相変わらずずっと底で、月の半分くらいしか稼働がないような状態である。
□	輸送用機械器具製造業（管理担当）	それ以外	・緊急事態宣言下での外出控えによる。
□	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・本来なら景気はやや良いと答えるところであるが、半導体不足で完成車の生産量が減っているため、どちらともいえない。
□	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・日用雑貨の物量は安定しており利益を出しやすい状況が続いている。取引先の生産材メーカーの多くはいまだに前年同月の物量を割り込んでいるが、物量が安定しているため利益に余り影響はない。
□	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・停滞という意味で変わらないのではなく、3か月前の景気はやや良くなっている状況から、今月もそのやや良い状況を維持しているという意味で景気は変わらない。荷物の取扱量が微増しており、少しずつ前年と比べて伸びている。
□	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・コロナ禍の状況はしばらく変化がないと考える。
□	金融業（従業員）	取引先の様子	・景気は、トータルでみて今は若干良い傾向にある印象を受けている。緊急事態宣言などにより飲食店などは低迷しながらも、製造業は比較的忙しいモードであったり、オンラインサービスなどは逆に発展をしている。そういった2極化が発生しており、良いか悪いか分からない状況のため、景気としては変わらないと判断した。
□	金融業（企画担当）	取引先の様子	・コロナ禍の生活に特に大きな変化はない。外出の自粛により、観光関連、飲食関連業者を中心に、引き続き経営は厳しい状況が続いている。
□	不動産業（経営者）	それ以外	・例年よりも雨の日が多い上に、新型コロナウイルスの影響により出費を控える傾向も続いており、売上の厳しい状況は継続している。
□	不動産業（開発担当）	競争相手の様子	・不動産取引において、コロナ禍以前と比べ積極的な投資が停滞していると感じる。ただし、悪化しているとまでは感じない。
□	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まったばかりなので、客も各イベント等に関して様子見の感がある。

	□	行政書士	受注量や販売量の動き	・出荷量が通常どおりである。
	□	会計事務所（職員）	取引先の様子	・飲食店は、時短要請があるので相変わらず業績は悪い。それ以外の業種については、毎月の決算を見ても比較的好調で、この状況は変わっていない。
	□	会計事務所（職員）	取引先の様子	・今月も前年比で増収増益となる見込みであり、コロナ禍ではあるが、この数か月間、売上は順調に推移している。取引先の客足も好調であると聞いている。
	□	その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	受注量や販売量の動き	・ゴールデンウィークも営業したことで来客数は伸びた。しかし、その後のコロナ禍対策で来客数は伸び悩んでいる。
	□	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・5月は4月より良く、ゴールデンウィークを挟みながらまずまずの結果であった。ただ、競合先の仕事量、取引先や飲食店の状態などをみると経営環境は良くない。まだまだ注意が必要と考える。
	▲	パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症について、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が延長になった影響が大きく、全般的には受注量、販売量共に大幅に減少し、景気はやや悪い。
	▲	窯業・土石製品製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・注文見込みの数量連絡を受けて生産する製品で、実際の注文で後倒しになる依頼が増えている。客の稼働率が下がっている。
	▲	鉄鋼業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・鋼材価格は、メーカーの国内需要を無視した今までに類を見ない幅の値上げが行われ、このまま進めば我々中小企業の存亡に関わる危機である。自動車などの客にはほぼ値上げを行わず、我々中小流通業者だけの分を大幅に値上げするのは法律にも抵触するのではないかと思われ、関係省庁の調査を求めたい。
	▲	金属製品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・仕事量は余り見込めず、残業を取りやめようかという動きになっている。
	▲	建設業（営業担当）	取引先の様子	・緊急事態宣言による仕事の延期や中止の話が出てきていると、取引先や同業者から聞いている。
	▲	通信業（法人営業担当）	それ以外	・飲食店だけでなく、開店休業状態の小売店が多い。新型コロナウイルスの給付金では家賃も払えないと知り合いの店主が嘆いていた。今後、体力のある大手だけが生き残っていく前兆が、ありありと感じられる。
	▲	通信業（法人営業担当）	それ以外	・副業を持つ人や複数の仕事をする人が増え、生活維持がかなり大変な人が大勢いる。新型コロナウイルスのワクチン接種も遅々として進まず、ストレスが社会にまん延している。
	▲	金融業（従業員）	取引先の様子	・取引先は緊急事態宣言やまん延防止等重点措置により休業に追い込まれていたり、売上が減り厳しい状況となっている。新たな分野への活路も難しい部分がある。
	▲	公認会計士	それ以外	・コロナ禍が長引いているため、中小企業では経済活動の制約による売上減少、生産性低下やコミュニケーション不足等の悪影響が出ている。中堅・中小企業の給与・ボーナスは、減少傾向にある。
	×	食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言の影響により受注量が減少している。
	×	通信業（総務担当）	それ以外	・緊急事態宣言の対象地域が増えたり継続されることで、人の移動が一段と制限されているため、経済活動が低迷し続けている。
	×	新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言下における土日の大型商業施設への営業自粛要請以後、一気に折込チラシの出稿枚数が落ちた。
雇用 関連 (東海)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・派遣終了時の後任について、3月時点では依頼が出なかったが、6月契約終了後の後任の依頼が出てきている。
	○	アウトソーシング企業（エリア担当）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルス感染症の第4波が到来しているが、自動車関連企業においては顕著な影響は出ていない。半導体不足という不安要素が続く。

○	民間職業紹介機関（営業担当）	採用者数の動き	・新型コロナウイルス環境下でも、将来の事業予測に基づいて人に対する投資を積極的に捉える企業は増加していると推察する。
□	人材派遣会社（経営企画）	周辺企業の様子	・前年5～11月頃まで落ち込んだ開発従事者の労働時間は、12月以降回復基調にある。4月は前年と同水準まで回復した。
□	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・ホテル関係はいまだに何もない。
□	人材派遣会社（企画統括）	求人数の動き	・新規求人数は前年と同程度で、引き続き低調に推移している。
□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求職者数も大きく変動しておらず、例年と変わらない動きである。
□	職業安定所（次長）	求人数の動き	・有効求人数の前年同月比を3か月前と比較すると、製造業等の一部で増加に転じる業種が見え始めているほか、減少幅は改善傾向にある。ただし、前年同月は既にコロナ禍の影響を受けており、前々年同月との比較では、全体として大きく減少している。
□	職業安定所（次長）	求人数の動き	・求人数などをみると、余り変化が感じられない。
▲	人材派遣業（営業担当）	周辺企業の様子	・緊急事態宣言の延長により先行きに明るい要素がなく、企業の採用意欲が低下している。
▲	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・緊急事態宣言の影響である。
▲	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・派遣求人数は回復傾向にあったが、緊急事態宣言の影響もあり、業種によっては一層の減少傾向にある。
▲	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	周辺企業の様子	・当地には緊急事態宣言が出ていないが、長い新型コロナウイルスの環境下で消費は低調となり、企業への深刻な影響を感じる。なかには好調な業種や企業もあるが、ほんの一部である。ここ最近、景気は更に下降していると感じる。
▲	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・緊急事態宣言が発出され、求人数が大きく減少した。
▲	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言の延長、変異株の影響及び製造業における半導体の供給遅延等、様々な理由により企業においては先行きが見通せない状況であり、依然として厳しい状態が続いている。
▲	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求職者が増加している。
×	—	—	—